

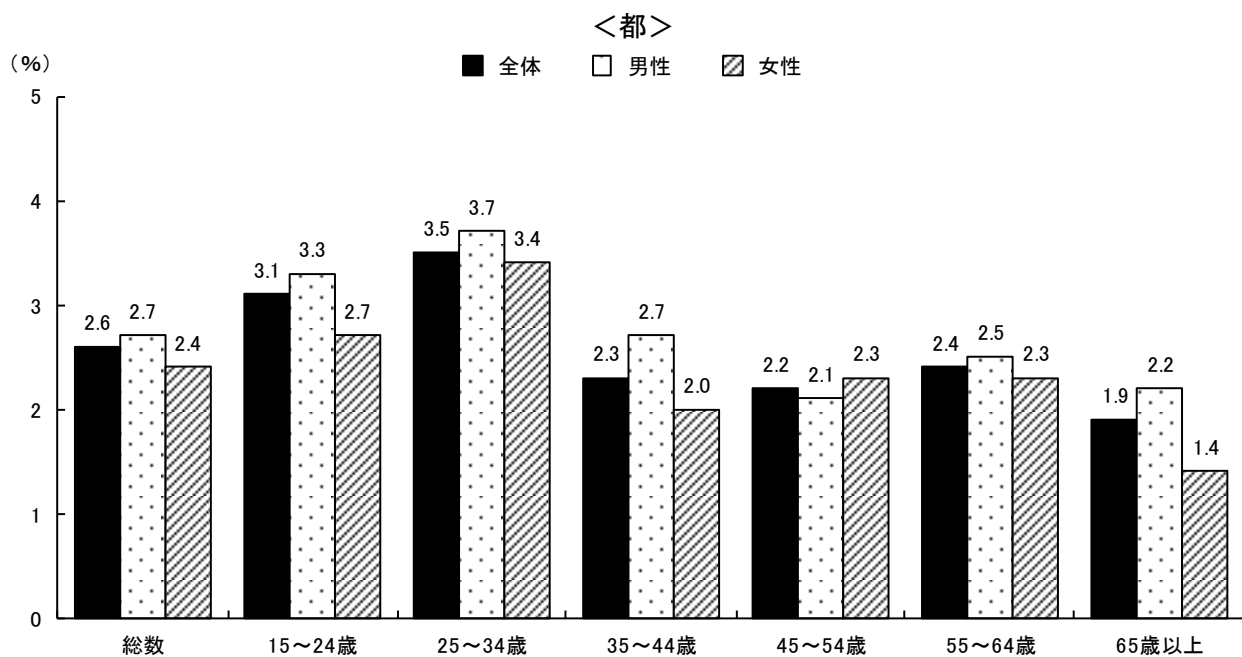
Ⅲ 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援

Ⅲ－３ 若年層への支援

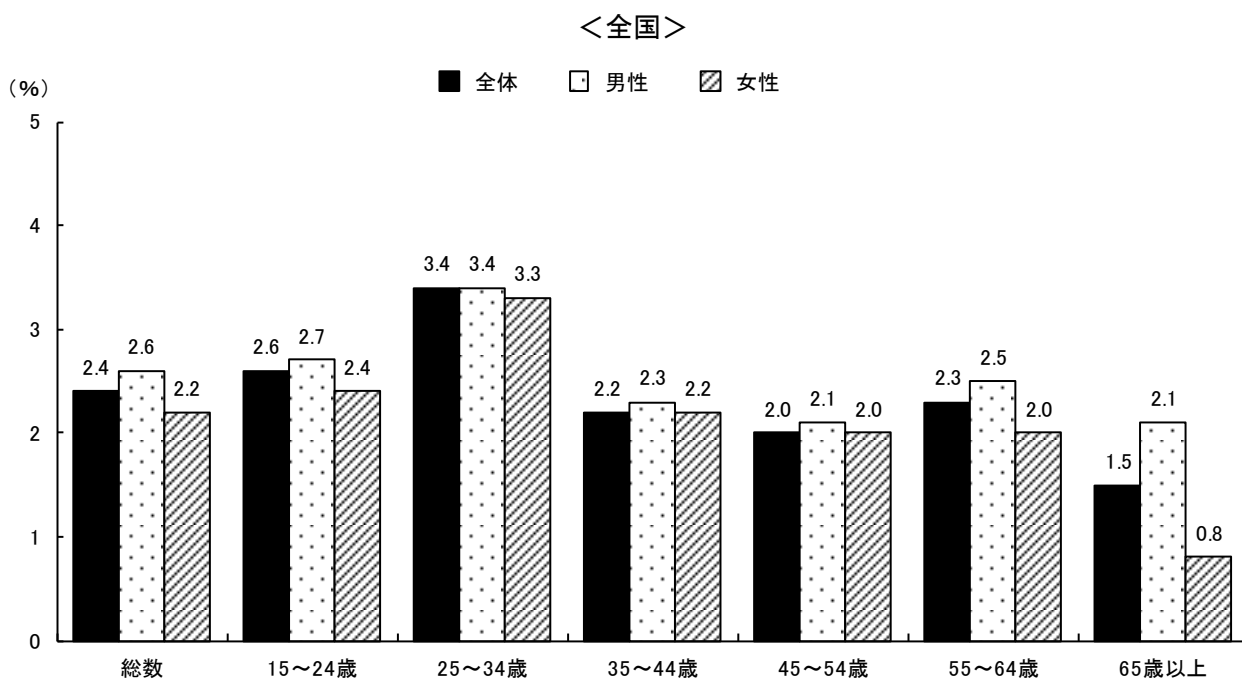
１．完全失業率

平成 30（2018）年の都の完全失業率は、男性 2.7%、女性 2.4%で、全国と同じ水準である。女性よりも男性の方が高く年齢階級では 25～34 歳が最も高い。男性と女性との差は、65 歳以上で拡大する傾向がある。

図表Ⅲ－３－１ 性・年齢階級別完全失業率（都・全国）



資料：東京都総務局「東京の労働力」（平成 30 年平均）

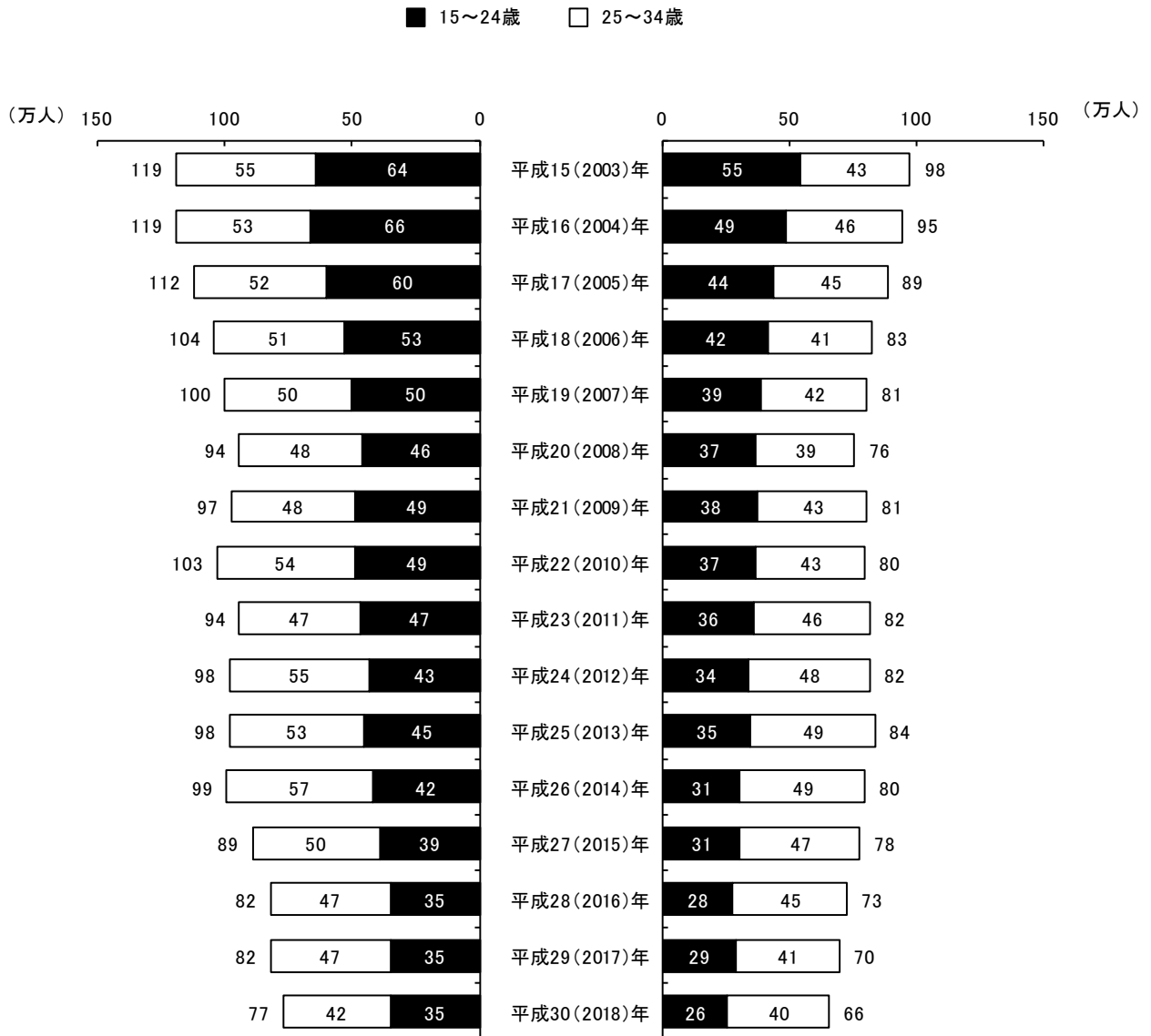


資料：総務省「労働力調査（基本集計）」（平成 30 年平均）

2. 年齢階級別フリーター数の推移

全国のフリーター数は、平成 30（2018）年で男性 66 万人、女性 77 万人である。平成 15（2003）年以降の推移をみると、男性、女性とも 15～24 歳を中心に緩やかな減少が続いている。

図表Ⅲ－３－２ 年齢階級別フリーター数の推移（全国）



注1：ここでの「フリーター」の人数は、若年層（15～34歳の男性（卒業者）、女性（卒業で未婚の者））のパート・アルバイト及びその希望者で、下記①～③の合計である。

①「パート・アルバイト」での雇用者

②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者

③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で、家事も通学も就業内定もしていない「その他」の者

注2：平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。

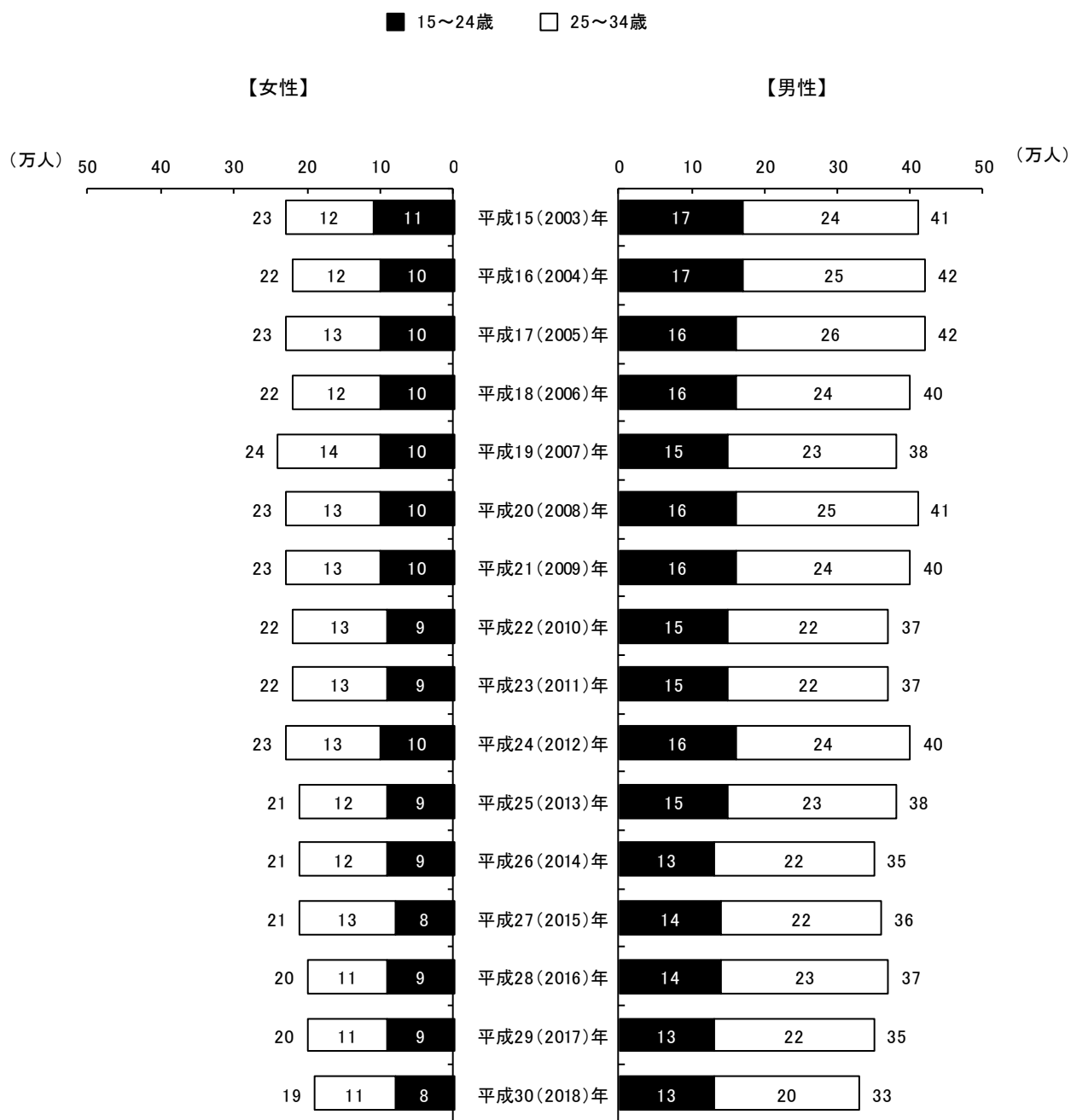
資料：総務省「労働力調査（詳細集計）」（平成30年平均）

Ⅲ 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援

3. 年齢階級別若年無業者数の推移

全国の若年無業者数は、平成 30（2018）年で男性 33 万人、女性 19 万人である。平成 15（2003）年以降の推移をみると、女性は平成 19（2007）年の 24 万人をピークに平成 24（2012）年以降は減少傾向にある。男性は平成 15（2003）年以降、40 万人台前後で推移していたが平成 24（2012）年以降は減少傾向にある。

図表Ⅲ－３－３ 年齢階級別若年無業者数の推移（全国）



注 1：ここでの「若年無業者」は、15～34 歳の非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者。

注 2：平成 23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。

資料：総務省「労働力調査（基本集計）」（平成 30 年平均）